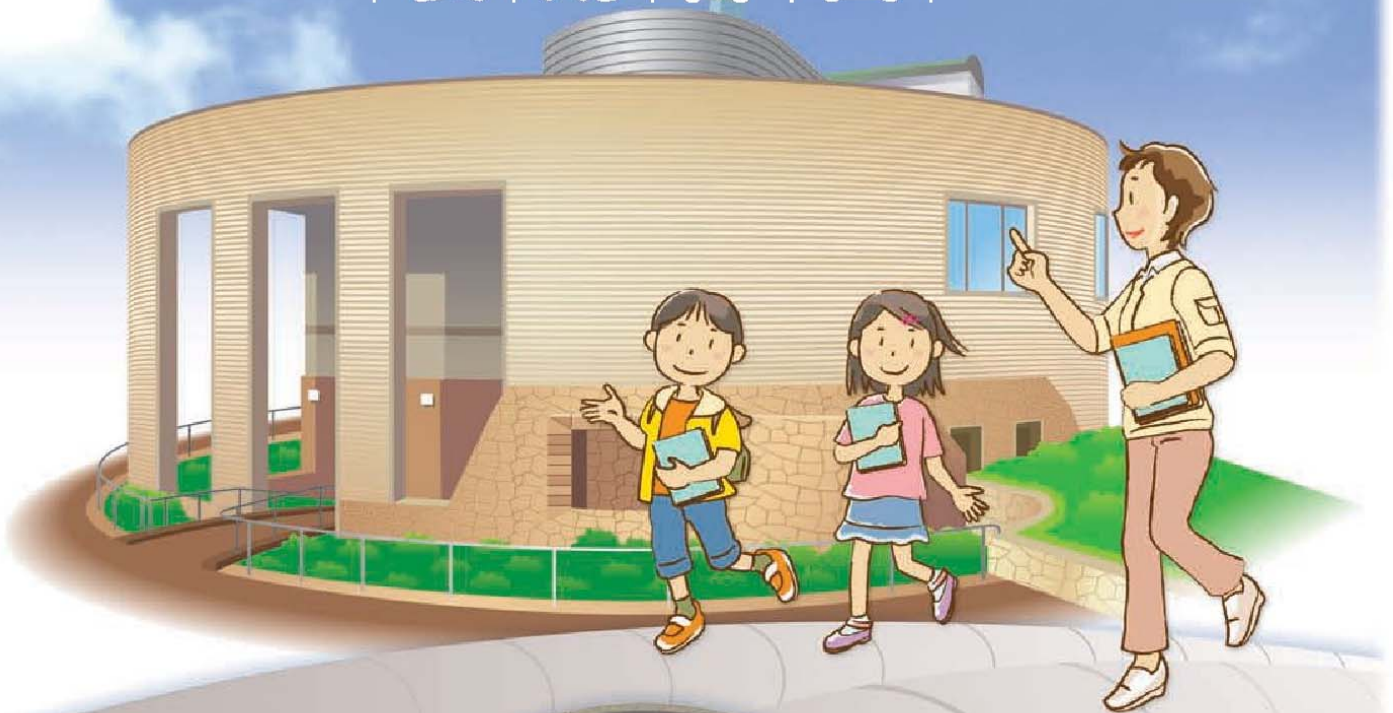


小平市 下水道プラン

～快適な生活環境を支える下水道～

後 | 期 | 計 | 画



【目次】

第1章 後期計画見直しにあたって	1
1 計画見直しの趣旨	1
2 計画期間	2
3 計画見直しの方針	2
4 基本理念及び基本方針	3
5 施策体系	4
第2章 前期計画の総括	5
1 前期計画の評価方法	5
2 各施策の取り組みと評価	5
第3章 後期計画における方向性と取り組み内容	32
基本方針Ⅰ 環境に配慮したまちづくり	
施策	
1 汚水処理対策	33
2 合流式下水道改善対策	35
3 雨水浸透対策	36
4 資源の有効利用	38
5 施設の適正管理	39
基本方針Ⅱ 安心して暮らせるまちづくり	
施策	
1 浸水対策	42
2 地震対策	45
3 施設の老朽化対策	47
基本方針Ⅲ 環境意識が高いまちづくり	
施策	
1 環境学習の継続	50
基本方針Ⅳ 下水道経営基盤の強化	
施策	
1 経営の効率化・健全化	52
2 収入の適正化	54
第4章 後期計画の取り組みにあたって	56
1 施策の推進に向けて	56
2 各施策の目標数値等	57
附属資料	60
1 用語解説	61
2 小平市下水道プラン後期計画見直しの経過	64
3 小平市環境審議会委員名簿	65

注. 文中の語句右上の※については、巻末で用語解説を行っている語句を示しています。

第1章 後期計画見直しにあたって

1 計画見直しの趣旨

小平市の下水道は、昭和45年度から整備を始め、市民の皆様とともに歩み、快適で安全な生活と水環境の改善に貢献することで小平市の発展に寄与してきました。

小平市では、平成18年3月に「こだいら21世紀構想（小平市第三次長期総合計画基本構想）〔計画期間：平成18年度から平成32年度まで〕」を策定し、「躍動をかたちに 進化するまち こだいら」を将来都市像としてさらなる発展を目指してきております。

従来、下水道は、速やかな雨水の「排除」と汚水の「排除・処理」を基本的な役割としてきましたが、現在は、良好な水環境の確保のほか、災害への対応や、地球温暖化*等の地球環境問題、周辺環境の変化や、社会情勢の変化の中で、下水道が求められる役割は多様化しています。

小平市では、市の長期総合計画に示される将来都市像を実現することを目的とするとともに、下水道をとりまく環境及び市の下水道が抱える課題等を踏まえ、中・長期的な視点に立った市の下水道事業のあり方（方向性）を示した、下水道における総合的な計画として「小平市下水道プラン」を平成23年3月に策定し、計画的な事業運営に努めて参りました。

しかし、計画策定後、国内外の社会情勢の変化等を踏まえ、下水道の使命、長期ビジョン、及び、長期ビジョンを実現するための中期計画（今後10年程度の目標及び具体的な施策）を示した「新下水道ビジョン」が新たに国から示されるなど、下水道をとりまく環境も変化してきております。

そのような長期的な視点のもと、計画策定時においては、限られた財源の中で最大限に事業効果を発揮できるよう、PDCAサイクル*の観点から、計画に位置づけられた施策に対する進捗状況の把握・評価を行い、柔軟に本計画を推進していくこととしておりました。

そこで、「小平市下水道プラン」の計画期間の中間年を迎えるにあたり、前期計画に対する総括を実施し、今後5年間の施策の方向性を示す後期計画を見直すこととしました。

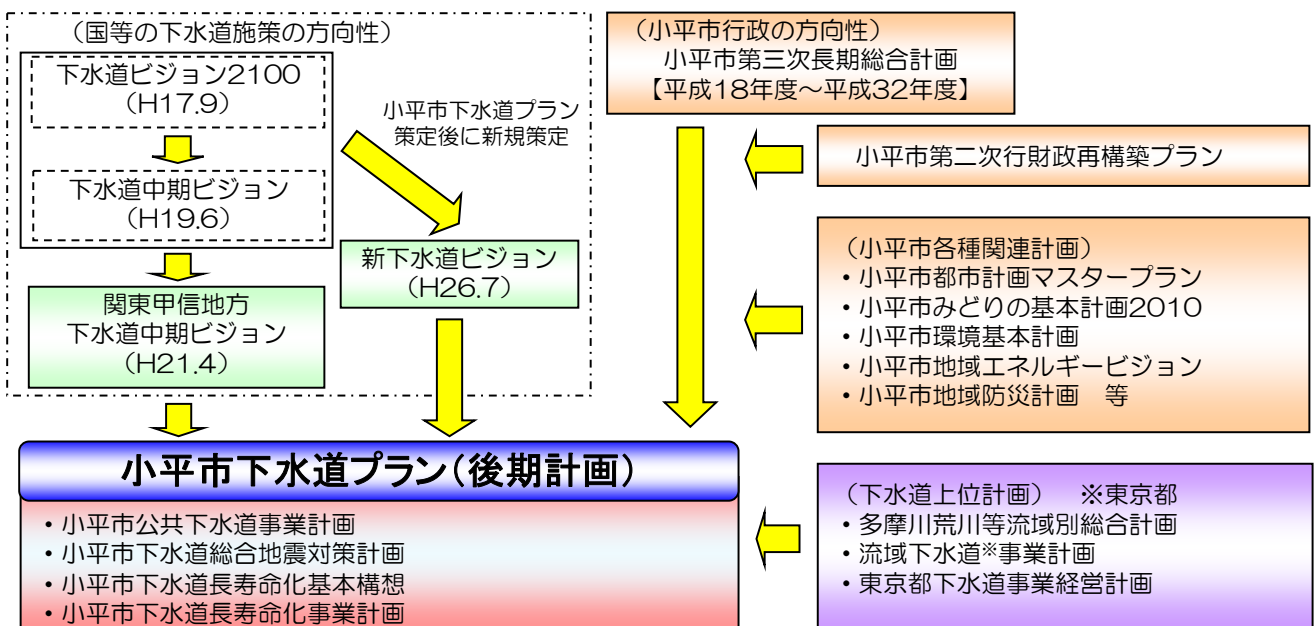


図 1-1 計画の位置付け

2 計画期間

「小平市下水道プラン」は、平成23年度から平成32年度までの10年間を計画期間とし、最初の5年を前期、その後の5年を後期として各期間の事業計画（施策と取り組み目標）について、平成23年3月に策定しました。

本計画は、計画期間の中間年を迎えたことから、平成28年度を初年度とした今後5年間の事業計画（施策と取り組み目標）について、これまでの事業進捗や社会情勢等の変化に合わせた見直しを行い、「小平市下水道プラン（後期計画）」を策定したものです。

表 1-1 計画期間

項目	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	
小平市下水道プラン											
本計画 (後期計画)						中間 評価 (見直し)					

3 計画見直しの方針

基本理念、基本方針及び主な施策については、これまでの計画を引き継ぐこととし、本プランに位置づけている施策のうち、後期計画の目標を「計画見直し時に設定」としている5つの取り組みを中心に、目標数値等を新たに設定するとともに、その他の取り組みについても点検を行い、必要に応じて目標数値等の見直しを行いました。

4 基本理念及び基本方針

下水道は、これまで重要な都市基盤の一つとして、まちづくりに貢献し、市民の暮らしを支え、市民とともに歩んできました。現在では、わたしたちの健全で快適な都市生活を営むうえで欠かせない施設となっています。

言い換えれば、「わたしたちの快適な生活は、下水道があってこそ」であり、下水道は、快適な生活の出発点となる施設としても位置づけられると考えられます。

わたしたちが、今後も快適な生活を続けていくためには、良好な生活環境の維持や公共用水域[※]の水質保全、災害（浸水、地震）等への備え、健全な水循環[※]の創出、施設の老朽化への対応等、下水道による質の高いサービスを提供し続けることが重要です。

以上を踏まえ、「小平市下水道プラン」では、基本理念を次のとおり掲げて、今後は市民や事業者との連携のもと、安定した経営による持続可能な下水道を目指し、更なる小平市の発展に寄与していくこととしています。

また、基本理念及び下水道が抱える課題を踏まえて、「環境に配慮したまちづくり」「安心して暮らせるまちづくり」「環境意識が高いまちづくり」の3つを下水道から貢献できるまちづくりとして掲げ、下水道としての施策に取り組んでいます。なお、この取り組みのためには、これからも下水道を持続的なものとする必要があります。したがって、下水道が貢献する3つのまちづくりと併せて、「下水道経営基盤の強化」についても基本方針として掲げています。

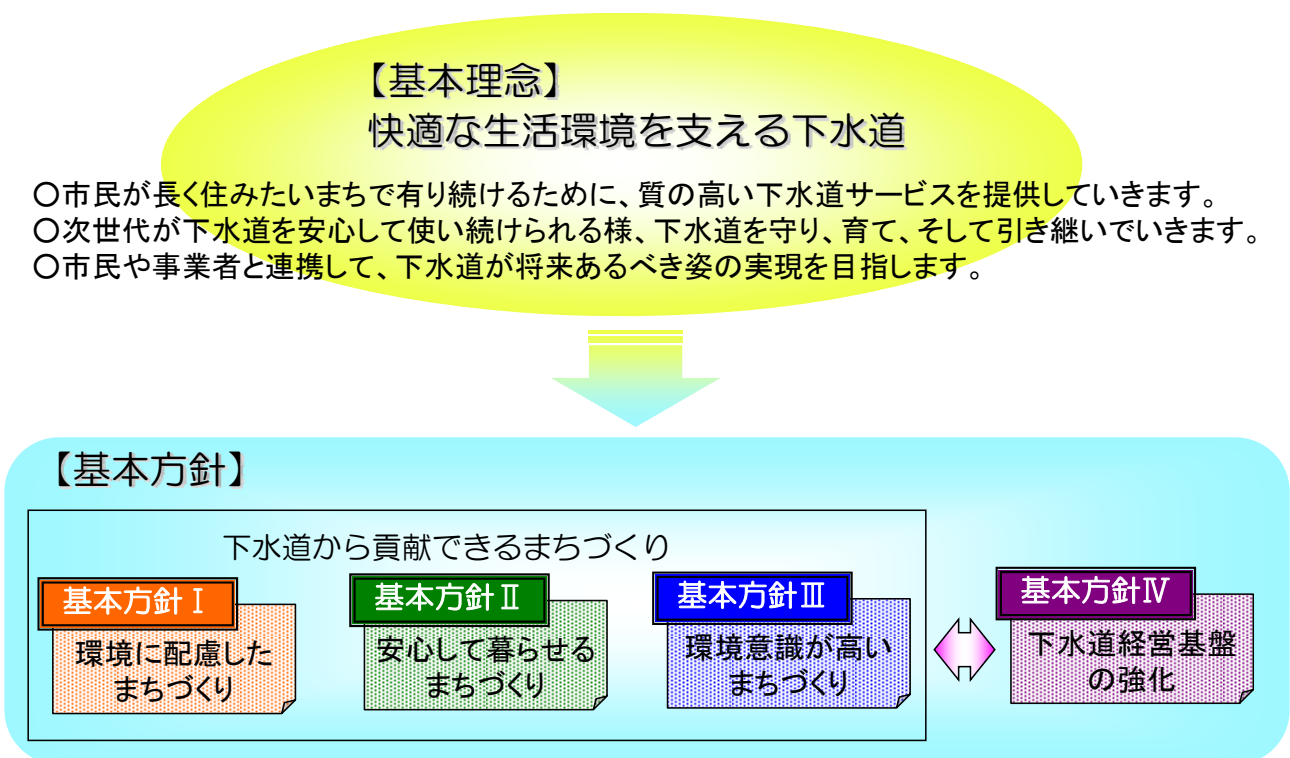


図 1-2 小平市下水道プランの基本理念及び基本方針

5 施策体系

小平市下水道プランでは、前述の基本理念及び基本方針を踏まえ、主な施策を以下のとおりとしています。

表 1-2 基本方針に基づく主な施策

基本方針		内 容	主な施策
I	環境に配慮したまちづくり	<p>小平市は、早くから下水道整備に取り組み、周辺の水環境のみならず、放流先である河川を含め流域としての水環境の保全に貢献してきました。</p> <p>今後も、未接続家屋の解消や合流式下水道*の改善対策等、流域の水質改善に向けた取り組みを推進していきます。</p> <p>さらに、雨水貯留・浸透施設の設置促進等により、水循環の健全化、地球温暖化*対策への取り組みを充実するとともに、資源循環の観点から、雨水や下水道資源の積極的な利用について検討していきます。</p> <p>また、良好な生活環境や周辺環境の保全のためには、今後も下水道を守っていく必要があります。したがって、下水道を持続的なものとするために、施設の適正管理を図ります。</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 汚水処理対策 2. 合流式下水道改善対策 3. 雨水浸透対策 4. 資源の有効活用 5. 施設の適正管理
II	安心して暮らせるまちづくり	<p>下水道は市民の生命と財産を守る重要な都市施設です。これまで、下水道の整備により、市内の浸水被害は軽減されてきています。</p> <p>今後も引き続き浸水対策を進めるとともに、大規模地震時にも下水道の下水を流すという機能が停止しないよう、対策を実施していきます。</p> <p>また、老朽化に伴う管きよの破損による汚水の流出や管内での滞留、道路陥没等が起こらないよう、計画的、効率的な維持管理を実施し、施設の老朽化対策を行います。</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 浸水対策 2. 地震対策 3. 施設の老朽化対策
III	環境意識が高いまちづくり	<p>小平市は、全国の自治体の中で13番目に下水道（汚水）整備が完了した先駆的な都市でもあります。</p> <p>また、市内には、「ふれあい下水道館」を有しており、下水道を通して市内外の方への情報発信を行い、環境への意識向上に貢献してきました。</p> <p>下水道を含めた環境問題への取り組みについては、行政のみで完遂することはできず、市民あるいは事業者との連携が必要です。</p> <p>これからも積極的な情報発信を行うとともに、ホームページ等で市民や事業者からの意見も聴取し、環境意識の向上に対する取り組みを実施します。</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 環境学習の継続
IV	下水道経営基盤の強化	<p>下水道として小平市のまちづくりに貢献していくためには、下水道を持続的なものとする必要があります。</p> <p>昨今の厳しい財政状況も踏まえ、限られた予算の中でいかに効率的に事業を実施していくかが鍵となります。また、下水道経営の効率化・健全化を図るとともに、収入の適正化の検証を行い、経営基盤の強化を実現していきます。</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 経営の効率化・健全化 2. 収入の適正化